

紀の川市行財政改革推進委員会会議概要

日時 平成 30 年 8 月 20 日（月） 13:30－14:30

会場 紀の川市役所 4 階 402 中会議室

出席者 仁藤会長／箕輪委員／林委員／恩賀（要）委員／野村委員／恩賀（義）委員／坂口委員

事務局 今城部長／角企画経営課長／杉本人事課長／矢田公共施設マネジメント課長／速水財務課班長
中川人事課班長／西川企画経営課主任／片山人事課主任／吉田企画経営課副主任

開会

挨拶 角課長

委員紹介

資料確認

議題 1 会長、会長代理の選出について

前段に事務局から紀の川市行財政改革推進委員会設置要綱により、第 2 条（所掌事項）、第 4 条（任期）を説明。

次に、第 5 条（会長）について、委員の互選により仁藤委員を会長に選任、仁藤会長から会長代理として箕輪委員を指名。

議題 2 紀の川市財政状況について【速水班長より概要説明】

恩賀（義）委員：（財政健全化に向けた取り組みを踏まえた財政収支見直しについて）行財政改革を実施すればこのようになるのかとの質疑。

速水班長：現在よりもさらに行財政改革を進めていくことでこのようになる見込みとの回答。

議題 3 第 2 次紀の川市行財政改革集中改革プラン進捗状況の報告について【西川より概要説明】

恩賀（義）委員：（第 2 次集中改革プラン【改訂版】取組経過一覧のなかで）公用車管理事業の H25～H29 の財政効果累計額がマイナスになっているのはなぜかとの質疑。

事務局：公用車の管理委託に際し、管理棟の整備などに一時的に費用がかかったが、後年度に財政効果が出る見込みであるため、現時点ではマイナスとなっているとの回答。

箕輪委員：普通交付税の算定替えに対応していくためには行財政改革を進めて行く必要があるが、相手

があつてのことなので進みにくい面もあると思うが、歳入が減っていく中で改革を進めていかなければならないということだと思う。住民サービスがマイナスにならないように減らすだけにならないように全体的に考えていかなければならないとの意見。

角次長：財政を健全化しながら、市民サービスを高めていくという取り組みをすすめていきたいとの回答。

箕輪委員：職員の質の向上、人数が少なくても対応できる状況を作り、職員研修を実施してよくなっていると思うが、今以上にがんばって少数精鋭でやっていけるような体制を作ってほしいとの意見。

議題 4 第 3 次紀の川市行財政改革大綱 平成 30 年度推進計画について

【角課長、杉本課長、矢田課長、速水班長より順次概要説明】

仁藤会長：ICT 化によって市民サービスの低下を招かないようにとの意見。

恩賀（義）委員：非常勤職員はどんな部門で雇用しているかとの質疑。

杉本課長：基本的にルーティン業務を非常勤職員に担ってもらっているとの回答。

恩賀（義）委員：非常勤職員も福利厚生が悪ければサービス低下につながるとの意見。

人事課長：H32 年度から導入予定の会計年度任用職員について、同一労働同一賃金の考え方を踏襲しながら非常勤職員の待遇を検討していきたいとの回答。

仁藤会長：指定管理の状況について質疑。

矢田課長：青洲の里、細野キャンプ場、ハイランドパーク粉河、桃山物産センターを指定管理しているが、モニタリングを行っていない、指定管理に関する基準が整備されていないという課題があるとの回答。

恩賀（義）委員：水道事業で不正事件があったが、研修をきちっとやっていなければいけないと思うがとの質疑。

今城部長：毎年、職員倫理に関する研修を行っているが今後とも引き続き行っていきたいとの回答。

仁藤会長：職員の倫理に関する引き続き研修をおこなってほしいとの意見。

議題5 意見交換

仁藤会長：ご意見を会長と事務局で取りまとめ、後日、郵送により委員各人に内容確認いただく旨を説明し、了承。

その後、本会より市長に対して、提言書を提出する旨を確認。

議長解任

閉会